


## 【住民参加型の自治体事業と公的支援を受けた 中小企業とのコラボレーション】



北九州市の「(新)竹材活用システム支援事業」と  
中小機構の「ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業」を活用し、  
産学官の連携により、地域中核企業へと着実に前進している中小企業のご紹介です。

北九州市では、(新)竹材活用システム支援事業として、市内の放置竹林を解消するため、竹の伐採費用を助成し、放置竹林の竹を引き取り、その竹を産業用や市民活動用の素材として活用してもらい、竹が循環する仕組みづくりを支援しています。

収集した竹材については、出口戦略の創出につながる企業等へ提供することで需要拡大を図ることとしています。

北九州市の石川金属工業株式会社は、この竹材の活用について、大学との共同研究により大手自動車メーカーへの部材提案にたどり着きました。将来的には、竹コンポジット材を活用した自動車が輸出されるなど外需を獲得しつつ、地域の関連産業では所得増による消費増を通じ、域内サービス業等の活性化をもたらすなど好循環型経済モデルが生み出される可能性を秘めています。

北九州市は、本来廃棄物である放置竹林を地域資源として活用するなど、地域課題の解決を目指した取組を行っています。この竹材を活用して大手自動車メーカーへ部材の搬入を目指している地場企業の石川金属工業株式会社は、竹材を通じ地域と海外をつなぐ中核的機能を果たそうとしています。

